



平成 28 年 7 月 8 日
医学・病院企画課
附属病院総務課
附属市民総合医療センター総務課

平成 27 年度の医療安全管理の取組について

公立大学法人横浜市立大学附属病院（金沢区福浦 3－9 病院長 相原 道子 病床数 654 床）および附属市民総合医療センター（南区浦舟町 4－57 病院長 後藤 隆久 病床数 726 床）の「平成 27 年度の医療安全管理の取組について」は、別途資料のとおりです。

【参考】

○ 過去 5 年間の即時公表事例の件数

年 度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
附属病院	0 件	0 件	1 件※	0 件	0 件
センター病院	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※H25.4.30（記者発表）：栄養チューブの詰まりを開通するために濃度の高い酢酸液を注入したことによる医療事故について

○ 過去 5 年間の一括公表事例の件数

年 度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
附属病院	0 件	1 件	1 件	1 件	0 件
センター病院	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件

○ 過去 5 年間のインシデント報告数

年 度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
附属病院	4,956 件	5,443 件	5,521 件	5,490 件	5,496 件
センター病院	7,393 件	6,651 件	7,668 件	7,788 件	7,582 件

インシデント…医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験を有する事例で、医療事故には至らなかった場合をさす。

YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先			
医学・病院統括部	医学・病院企画課長	新井 達夫	Tel 045-787-2991
附属病院	総務課長	小田 英一	Tel 045-787-2804
附属市民総合医療センター	総務課長	秋元 秀臣	Tel 045-253-5302

平成27年度の医療安全管理の取組について

平成28年7月8日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属市民総合医療センター

目 次

■ 医療事故公表判定基準等		1
I インシデント報告の状況		4
II 入院患者アンケート調査結果		6
III 主な改善検討事例		8

(参考) 資料中での病院名の正式名称は次のとおりです。

附属病院 : 横浜市立大学附属病院

センター病院 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター

医療事故の公表について

平成13年 2月16日 制定

平成26年 6月12日 改正

横浜市立大学附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属2病院」といいます。）は、平成11年1月の患者取り違え事故をはじめ、薬剤ラベル貼り付けミスなど、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理の徹底に努めてまいりました。

医療の安全管理を進め、患者さんの安全を確保するとともに、医療事故の発生などの情報を公表することによって、病院運営の透明性を高めることが、医療の信頼を回復するために重要であります。

そこで、横浜市立大学では、附属2病院がどのような場合に医療事故の情報を公表するかを検討するため、平成12年8月7日に市立大学病院改革委員会のもとに医療事故公表基準作成特別委員会を設置しました。同特別委員会は、これまでに6回の審議のほか、市民、市議員、医療関係者、法律専門家、評論家など多くの有識者・専門家の方々からのご意見を伺いながら検討を進め、附属2病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。

また、平成21年度からは、個人情報保護の観点から公表にあたっては同意書による確認を行うこととしました。

1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 平成11年1月に起こした患者取り違え事故を契機に、医療事故が大きな社会問題となっているが、当事者として、医療における安全管理を徹底していくために自発的に医療事故を公表していく責務がある。
- (2) 医療事故を公表し適切な対応をとることは、附属2病院の社会的な責任であるとともに、病院運営の透明性を高めることにより、市民からの信頼回復が図られる。
- (3) 医療事故を公表することは、他の病院の医療安全管理にとっても重要な情報提供になる。

2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

(1) 医療事故

- ① 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例。
- ② 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかつ

たものに限る)。

(2) インシデント事例

- ① 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
- ② 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例または軽微な処置・治療を要した事例。ただし、軽微な処置・治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③ 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

3 医療事故の公表基準

附属2病院は、次の基準該当する医療事故が発生した場合には、患者さんにご家族の同意のもとに、これを公表します。公表にあたっては、原則として、4の「医療事故公表判定委員会」の意見を聞くものとします。

- (1) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、もしくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表する。
- (2) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表する。

上記以外の医療事故は公益財団法人日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。なお、インシデント事例は包括した形で件数等を一括して公表し、原則として個別事例は公表しませんが、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例は日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。

4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関して、法人事務系責任職、附属2病院統括安全管理者、外部有識者等で構成する「医療事故公表判定委員会」を設置します。

当委員会は、病院長の依頼により、以下の項目について協議します。

- (1) 速やかに公表すべき医療事故であるか否か、について。
- (2) 医療事故に関して患者さんと御家族に対する説明が十分になされたか、また公表に関する同意が得られたかの状況の確認、及び公表の範囲について。
- (3) 患者さんのプライバシー・人権への配慮と、社会に対する説明責任との比較考量について。
- (4) その他、医療事故公表基準の運用に当たって重要な事項について。

病院長は、委員会での協議結果を受け、公表について意思決定します。ただし、速やかに公表すべきと判断される場合で委員会を開催するいとまがない場合は、事後に報告するものとします。

5 公表及び公表内容についての患者さん及び御家族の同意について

医療事故を報道機関等へ公表する際には、個人情報保護の観点から別紙「報道機関等への公表について」による確認を行います。

医療事故公表判定委員会にかかる設置要綱

公立大学法人横浜市立大学附属病院及び附属市民総合医療センターにかかる 医療事故公表判定委員会設置要綱

平成 17 年 4 月 1 日 制定

平成 25 年 4 月 5 日 改正

(目的及び設置)

第 1 条 公立大学法人横浜市立大学附属病院及び附属市民総合医療センター（以下「附属 2 病院」という。）における医療安全管理を推進するとともに、病院運営の透明性を高め、医療事故についての社会的な責任を果たすため、市立大学に医療事故公表判定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、病院長の依頼により次の項目を協議するものとする。

- (1) 事案が、速やかに公表すべき医療事故であるか否かについて
- (2) 事案に関して、患者・家族に対する説明が十分になされたか、また公表に関する同意が得られたかの状況の確認、及び公表の範囲について
- (3) 事案にかかる患者のプライバシー・人権への配慮と、社会に対する説明責任との比較考量について
- (4) 医療事故公表基準の運用に当たって重要な事項について
- (5) 医療安全管理の取組、インシデント報告システムの運用等について

(組織及び任期)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

副局長、医学・病院統括部長、市民総合医療センター管理部長、附属病院統括安全管理者、市民総合医療センター統括安全管理者、その他医療機関等の医師や医療安全管理に関する専門家等理事長が指名し委嘱する者

- 2 前項の委員の任期は 2 年間とし、再任を妨げないものとする。
- 3 委員会に委員長を置き、委員長は副局長をもって充てる。
- 4 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。
- 5 委員長は、必要に応じて委員会を招集し、会議の議長となる。

(秘密の保持)

第 4 条 委員会の委員として知り得た事項に関しては、正当な理由なく他に漏らしてはならない。

(庶務)

第 5 条 委員会の庶務は、医学・病院統括部医学・病院企画課、医学・病院統括部総務課及び附属市民総合医療センター管理部総務課において処理する。

(その他)

第 6 条 委員会の運営その他必要な事項に関しては、委員長が別に定める。

医療事故公表判定委員会 委員名簿（平成 28 年 4 月現在）

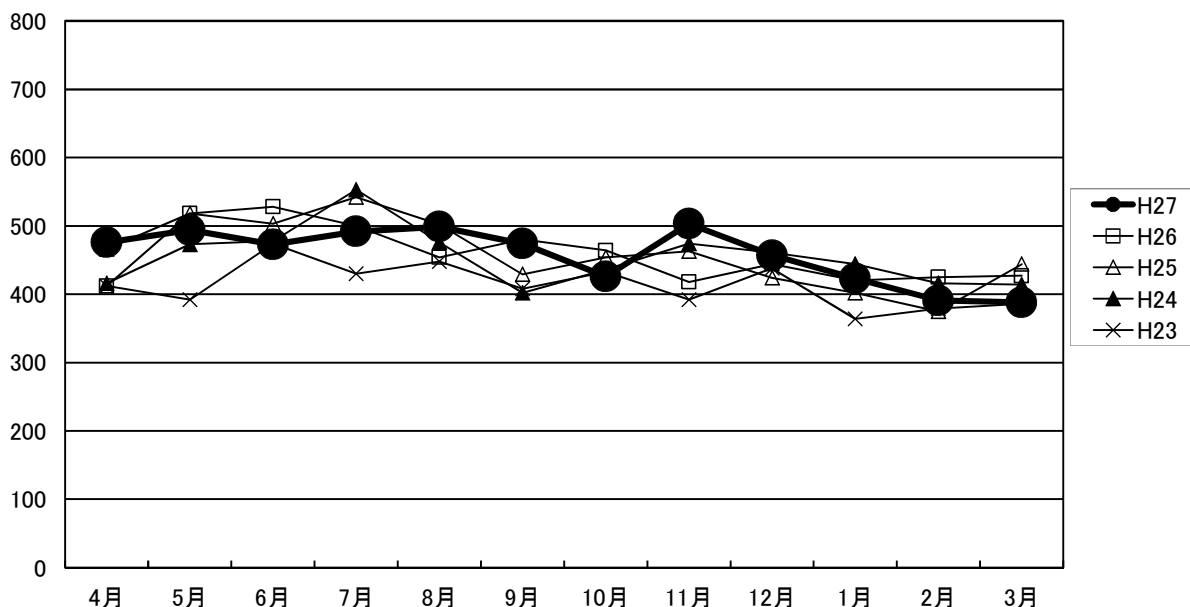
（敬称略）

氏 名	現 職 等
しも ざわ あき ひさ 下 澤 明 久	横浜市立大学 副局長
とり やま なお はる 鳥 山 直 温	(社)横浜市医師会 副会長
あま の み き こ 天 野 三紀子	(公社)神奈川県看護協会 専務理事
や お まさ ひろ 矢 尾 正 祐	横浜市立大学附属病院 統括安全管理者
こく さき ち から 國 崎 主 税	横浜市立大学附属市民総合医療センター 統括安全管理者
か とう じゅん いち 加 藤 淳 一	横浜市立大学附属病院 医学・病院統括部長
と くら りゅう いち 戸 倉 隆 一	横浜市立大学附属市民総合医療センター 管理部長

I インシデント報告の状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

1 附属病院

（1）インシデント報告の月別件数



（2）インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度	提出率	昨年度	職員数	昨年度
医師	187	174	15.6	14.5	3.4%	3.2%	6.1%	5.9%	256	247
看護師	4,777	4,747	398.1	395.6	86.9%	86.5%	55.4%	55.0%	719	719
コ・メディカル	489	541	40.8	45.1	8.9%	9.9%	21.9%	24.6%	186	183
事務・その他	43	28	3.6	2.3	0.8%	0.5%	5.4%	3.8%	67	61
合計	5,496	5,490	458.0	457.5	100.0%	100.0%	37.3%	37.8%	1,228	1,210

※ 職員数は27年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

（3）インシデント報告の事象別内訳

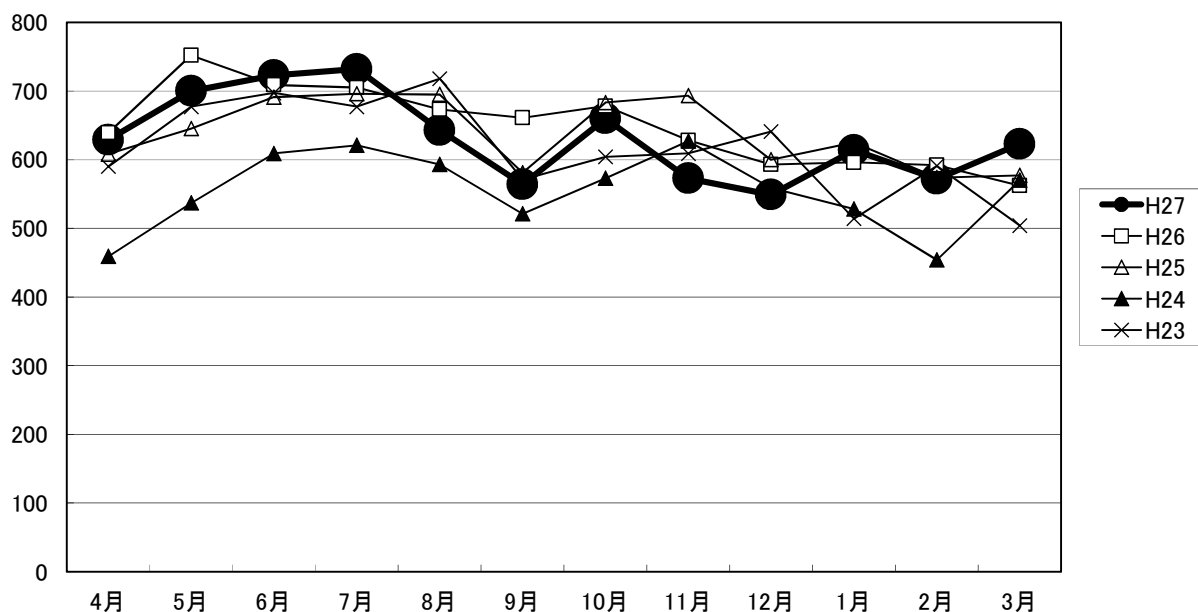
事象	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
薬剤	1,927	2,006	160.6	167.2	35.1%	32.1%
輸血	74	52	6.2	4.3	1.3%	0.9%
治療・処置	284	262	23.7	21.8	5.2%	4.8%
医療機器等	203	215	16.9	17.9	3.7%	3.9%
ドレーン・チューブ	974	1,047	81.2	87.3	17.7%	19.1%
検査	568	474	47.3	39.5	10.3%	8.6%
療養上の世話	769	811	64.1	67.6	14.0%	14.8%
(うち転倒・転落)	477	471	39.8	39.3	8.7%	8.6%
その他	697	623	58.1	51.9	12.7%	11.3%
合計	5,496	5,490	458.0	457.5	100.0%	100.0%

（4）インシデント報告の場所別内訳

場所	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
病室	3,053	3,175	254.4	264.6	55.5%	57.8%
病棟処置室	28	34	2.3	2.8	0.5%	0.6%
廊下	106	113	8.8	9.4	1.9%	2.1%
トイレ	116	86	9.7	7.2	2.1%	1.6%
浴室	28	21	2.3	1.8	0.5%	0.4%
外来診察室・処置室	277	233	23.1	19.4	5.0%	4.2%
外来待合室	33	38	2.8	3.2	0.6%	0.7%
手術室	426	430	35.5	35.8	7.8%	7.8%
検査室	290	162	24.2	13.5	5.3%	3.0%
訓練室	3	1	0.3	0.1	0.1%	0.0%
薬剤部	69	90	5.8	7.5	1.3%	1.6%
ナースステーション	536	552	44.7	46.0	9.8%	10.1%
その他	531	555	44.3	46.3	9.7%	10.1%
合計	5,496	5,490	458.0	457.5	100.0%	100.0%

2 センター病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度	提出率	昨年度	職員数	昨年度
医師	252	200	21.0	16.7	3.3%	2.6%	10.9%	8.8%	193	190
看護師	6,857	7,097	571.4	591.4	90.4%	91.1%	63.1%	65.0%	905	910
コ・メディカル	338	381	28.2	31.8	4.5%	4.9%	14.6%	16.5%	193	193
事務・その他	135	110	11.3	9.2	1.8%	1.4%	19.5%	15.6%	58	59
合計	7,582	7,788	631.8	649.0	100.0%	100.0%	46.8%	48.0%	1,349	1,352

※ 職員数は27年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
薬剤	2,861	2,699	238.4	224.9	37.7%	32.1%
輸血	56	41	4.7	3.4	0.7%	0.5%
治療・処置	483	530	40.3	44.2	6.4%	6.8%
医療機器等	196	254	16.3	21.2	2.6%	3.3%
ドレーン・チューブ	1,355	1,544	112.9	128.7	17.9%	19.8%
検査	586	595	48.8	49.6	7.7%	7.6%
療養上の世話	1,218	1,129	101.5	94.1	16.1%	14.5%
(うち転倒・転落)	525	543	43.8	45.3	6.9%	7.0%
その他	827	996	68.9	83.0	10.9%	12.8%
合計	7,582	7,788	631.8	649.0	100.0%	100.0%

(4) インシデント報告の場所別内訳

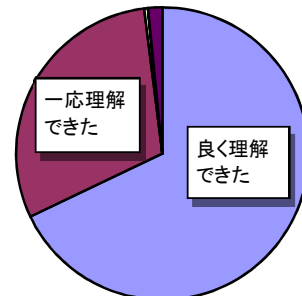
場所	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
病室	5,284	5,372	440.3	447.7	69.7%	68.4%
病棟処置室	41	37	3.4	3.1	0.5%	0.6%
廊下	93	104	7.8	8.7	1.2%	1.5%
トイレ	87	95	7.3	7.9	1.1%	1.7%
浴室	36	35	3.0	2.9	0.5%	0.5%
外来診察室・処置室	200	196	16.7	16.3	2.6%	2.9%
外来待合室	23	22	1.9	1.8	0.3%	0.3%
手術室	254	293	21.2	24.4	3.4%	2.2%
検査室	252	324	21.0	27.0	3.3%	4.2%
訓練室	7	9	0.6	0.8	0.1%	0.1%
薬剤部	92	69	7.7	5.8	1.2%	0.9%
ナースステーション	739	780	61.6	65.0	9.7%	10.0%
その他	474	452	39.5	37.7	6.3%	6.7%
合計	7,582	7,788	631.8	649.0	100.0%	100.0%

Ⅱ 入院患者アンケート調査結果（平成27年4月～平成28年3月）

1 附属病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

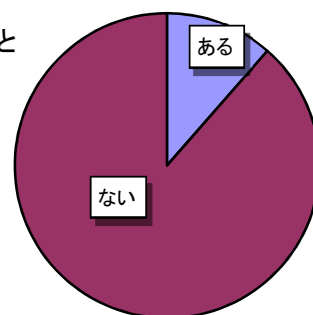
	27年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
良く理解できた	474	67.9%	67.3%
一応理解できた	210	30.1%	30.7%
余り理解できなかった	3	0.4%	0.8%
全く理解出来なかった	0	0.0%	0.1%
その他	11	1.6%	1.1%
合 計	698	100.0%	100.0%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

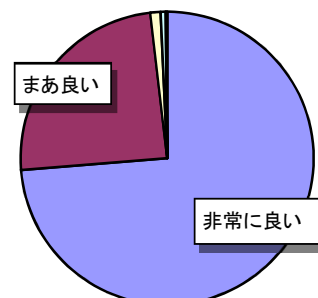
	27年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
ある(※)	81	11.4%	10.9%
ない	628	88.6%	89.1%
合 計	709	100.0%	100.0%

(※) 代表的な事例：採血・点滴時の医療従事者による技術不足、治療・検査・処置等に関する説明不足、院内設備や清掃に関する不満



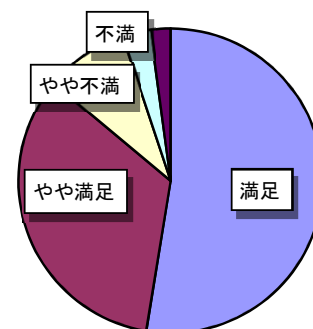
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	27年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
非常に良い	519	73.7%	76.6%
まあ良い	172	24.4%	21.7%
やや悪い	8	1.1%	0.7%
非常に悪い	4	0.6%	0.7%
分からない	1	0.1%	0.2%
合 計	704	100.0%	100.0%



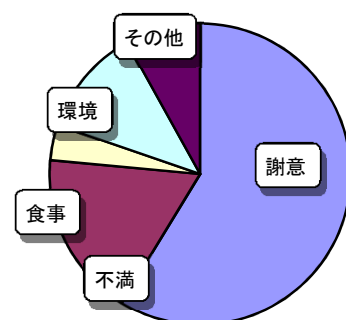
設問4 病室、トイレ、ディルム、食事など療養環境について

	27年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
満足	370	52.6%	57.7%
やや満足	236	33.5%	30.6%
やや不満	62	8.8%	7.1%
不満	21	3.0%	3.1%
なんとも言えない	15	2.1%	1.6%
合 計	704	100.0%	100.0%



設問5 その他の意見

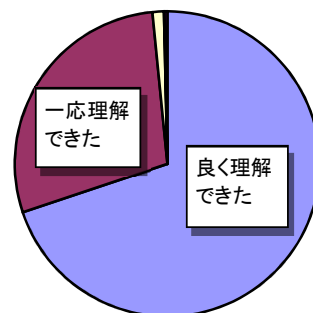
	27年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
医師、看護師等に対する謝意	509	58.7%	63.8%
医師、看護師等に対する不満	154	17.8%	12.1%
食事に関する要望	33	3.8%	2.9%
環境整備に関する要望	101	11.6%	16.7%
その他	70	8.1%	4.6%
合 計	867	100.0%	100.0%



2 センター病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

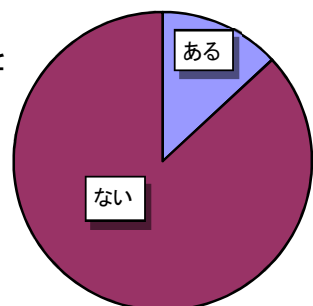
	27年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	767	69.9%	67.8%
一応理解できた	314	28.6%	30.9%
余り理解できなかった	13	1.2%	0.8%
全く理解出来なかった	1	0.1%	0.3%
その他	3	0.3%	0.1%
合 計	1,098	100.0%	100.0%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われること、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

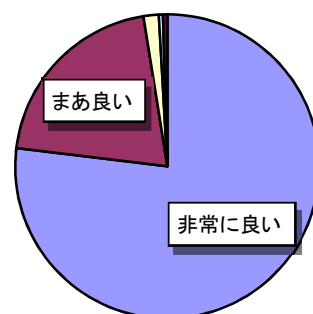
	27年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある(※)	133	13.1%	11.8%
ない	882	86.9%	88.2%
合 計	1,015	100.0%	100.0%

(※)代表的な事例： 点滴・注射における技術不足、手術や検査内容に関する説明不足、清掃や衛生面の不満



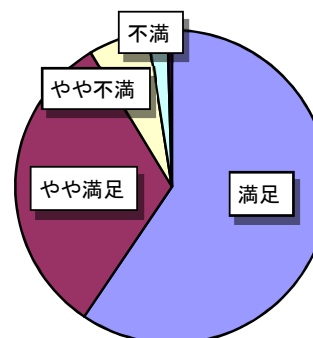
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	27年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	860	76.9%	77.5%
まあ良い	230	20.6%	19.8%
やや悪い	18	1.6%	1.1%
非常に悪い	5	0.4%	1.1%
分からない	5	0.5%	0.4%
合 計	1,118	100.0%	100.0%



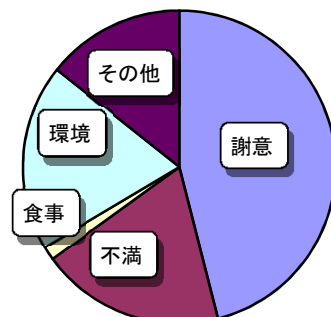
設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	27年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	651	59.5%	58.8%
やや満足	349	32.0%	32.4%
やや不満	68	6.2%	6.0%
不満	22	2.0%	2.2%
なんとも言えない	5	0.4%	0.6%
合 計	1,095	100.0%	100.0%



設問5 その他の意見

	27年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	608	46.0%	39.5%
医師、看護師等に対する不満	251	19.0%	26.5%
食事に関する要望	19	1.4%	2.8%
環境整備に関する要望	254	19.3%	21.0%
その他	189	14.3%	10.1%
合 計	1,321	100.0%	100.0%



Ⅲ 主な改善検討事例

1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	不要薬剤返却の徹底	入院患者の中止や変更となり使用されなくなった薬剤は、転用せず速やかに薬剤部へ返却するルールとなっていたが徹底されていなかった。通知文を発行し、不要薬剤の返却についてルールの再確認をした。さらに病棟薬剤師も病棟ラウンド時に不要薬剤の回収に取り組んだ。さらに実施状況について安全管理室で病棟ラウンドを行い、不要薬剤返却が実施できていることを確認・徹底した。
2	分割血液製剤のシリンジ貼付用ラベルの作成	小児の微量輸血のため分割血液製剤からシリンジに移して使用する際に、シリンジに貼付する輸血識別ラベルがなかったため、製剤製造番号を印字したラベルを作成。シリンジ用として分割血液製剤に貼付し払い出すように改善した。
3	医療安全管理室が発行する通知文に重要度分類を導入	安全管理室から発行する通知文の重要度がわかりにくかったため「重要」「注意」「掲示」の三段階の重要度分類を制定し、全職員への伝達を効果的に行う目的で重要度を識別した。
4	手術等の侵襲的処置に関する基本ルールを定めた	手術等の侵襲的処置の安全管理体制確保のため（１）医師の診療体制、主治医・指導医の関する内規の作成（２）術者資格に関する内規の作成（３）臨床倫理委員会要綱で定める医療行為の届け出（４）特にリスクの高い症例の医療安全管理室への届け出（５）IC時の具体的な合併症発生率の説明（６）死亡症例検討会の実施（７）重篤合併症発生時の検討会の実施の７項目を定めた。
5	ロボット支援手術および鏡視下手術における一時停止基準の作成	ロボット支援手術の術資格者および中止基準、鏡視下手術の術資格者および一時停止基準を作成し、医療安全マニュアルに追記した。
6	筋弛緩薬請求方法の運用変更	他施設での筋弛緩薬紛失事例から、当院の運用を見直し、専用伝票に使用予定患者名および用途の記入を必須にし、記入がなければ薬剤部より払い出さない運用に変更した。
7	5階フロアのセキュリティー強化	5階フロアは通常診療などでは使用しないが、容易に侵入可能であったため①「関係者以外立ち入り禁止」の札を追加・更新、②階段から5階フロアへの入室扉を常時施錠とした、③夜間・休日はエレベータが停止しないように変更した。
8	看護師のCVCルート管理に認定制導入	CVCルートの安全管理のため、CVCルート交換とCVCのへパ生ロック手順を作成。CVC管理研修を開催し、手順通りに正しく実施できる看護師を認定し、認定された看護師のみルート交換とへパ生のルートロックを実施できるよう体制を整えた。
9	化学療法センター、内視鏡センターでの外来患者ネームバンドを導入	化学療法センター、内視鏡センターにおいて外来ネームバンドの装着を開始し、抗ガン剤の投与時の確認、鎮静時の患者確認においてバーコード照合による確認が実施できるようにした。
10	患者確認強化月間の設定	患者取違い事故があった1月を患者確認強化月間として、全職員が医療安全マニュアル確認行為の読み合わせの実施、「名前を確認します」のリボンを装着し患者確認への自律を促した。外来診療エリアにポスターを掲示し、患者確認の実施をアピールした。取り組み実施状況について患者にヒアリングを行った。結果、患者から放射線部の確認が丁寧に徹底していると評価を受け、安全管理部門の職員表彰とした。
11	PICC限定登録医制度の新設	CVC登録医と同様に平成28年1月よりPICC限定登録医制度を新設し、院内でPICCを挿入できるのは、CVC登録医・PICC限定登録医もしくは登録医の指導の下で行った場合に限定した。
12	MRI磁場体験研修の新採用研修医、看護師の必須研修	MRIへの医療者による磁性体の持ち込み事例が続いたことから、教育目的で新採用研修医と看護師への必須研修とした。
13	ドクターコールバッグの整備	患者急変時、院内どこでも一次救命処置を迅速に行うための道具を一つのバッグに整備し麻酔科医、救急医、集中治療部医師が持参できるようにした。ドクターコール時、大勢が集まる中でリーダー医師の視認性を高めるため、ビブスを装備することで急変時の情報集約にもつながった。
14	こどもの外傷初期対応フローの作成	外傷を伴うこどもの受診時に、対応者が同一基準で判断できる虐待スクリーニングシートを作成。対応フローも併せて作成し、虐待を疑う場合には迅速に対応できるよう整備した。

	検討項目	改善検討内容
15	検査処置時の鎮静と病棟における鎮静についてのマニュアルを作成、研修を開催	鎮静を安全に実施するため、各診療科で検査処置時に行う鎮静方法について鎮静プロジェクトに申請し承認を得ることとした。鎮静中のモニタリングの方法、管理、記録方法、退室基準など含んだ鎮静マニュアルを作成。マニュアルの内容周知のため看護師に向け研修会も実施した。
16	院外処方箋用紙の変更	従来の院外処方せんは白色の偽造防止用紙であった。用紙を補充時、識別ができず誤って通常の白色コピー用紙を用いて処方箋を発行した事例が報告された。外観で判別できるように、青色の偽造防止用紙に変更した。
17	患者アレルギー情報共有のためのアイコン変更と入力状況調査の実施	患者のアレルギー情報が「有」「無」だけではなく「アレルギーがないことを確認した」という項目も作成し未入力状況も判別できるよう患者基本情報のアイコンをわかりやすくした。アレルギー情報の入力状況調査も継続的に実施している。
18	全死亡症例の把握	特定機能病院の新たな承認要件に対応するため、医療安全管理室で全死亡症例の死亡前5日間の診療記録を確認し、必要に応じて調査検証を行い、QIミーティングにて報告を行っている。
19	医療事故調査制度に対応した患者死亡時のフローチャートを作成	医療事故調査制度に対応し、患者死亡時に死亡時画像診断Ai・病理解剖が必要な患者を判断するためのフローチャートを作成した。併せてAi撮影時の対応についてもフローを作成した。

2 センター病院

	検討項目	改善検討内容
1	「中心静脈カテーテル挿入・留置に関するガイドライン及び運用マニュアル」の改訂	中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクトの一環として、穿刺針やカテーテルの選択、輸液接続時の注意点について、より一層安全に手技を実施できるようにマニュアル内容を改訂し、周知を行なった。
2	診療科部長とリスクマネジャー、安全管理室との個別面談実施	各診療科と個別面談を実施し、医療安全について、診療科部長とリスクマネジャーとで役割を再確認し、安全に関する情報がどのように周知されているかを確認した。症例の振り返りや医療の質を反映するクリニカルインディケーターの有無、他職種とのコミュニケーションに関して情報を共有した。
3	クリニカルパスにおける不眠時指示の見直し	高齢の入院患者が増加していることにあわせて、不眠時指示としての睡眠薬投与の見直しを行なった。薬剤部からの提案を受けて、クリニカルパス小委員会と連携して、睡眠薬の種類・用量について各診療科クリニカルパスを点検し、見直した。
4	「患者安全推進ジャーナル」をリスクマネジャー会議で配布	今年度はリスクマネジャー対象に、日本医療機能評価機構が発行する「患者安全推進ジャーナル」を年4回配布し、リスクマネジャー会議で特集等の概要を取り上げ、医療安全文化の醸成に努めた。
5	中央部門責任者とリスクマネジャー、安全管理室との個別面談実施	診療科と同様に、中央部門（栄養部、放射線部、リハビリテーション部、薬剤部、輸血部、臨床検査部）についても個別面談を実施し、安全に関する取り組みや今後の課題などを確認した。
6	電子カルテにおける「経過記録」項の活用推進	医療安全の観点から、診察記事や検査類、書類の有無を一画面で確認できる「経過記録」の項の活用をリスクマネジャー会議で推進し、2週間分を一画面で見られるように改修した。
7	抑制開始手順に関する医師指示方法の統一	電子カルテの指示コメントでフォーマットを作成し、抑制指示方法を統一した。抑制の目的、方法、時間、時期について流れに沿って入力ができるように改修し、院内に周知を行なった。
8	総合マニュアル「異状死の判断と異状死体の届出」改訂	新たに開始された「医療事故調査制度」に対応した内容に改訂を行い、死亡原因の検討や安全管理室への報告等をフローチャート化した。また、Ai（死亡時画像診断）の依頼方法についても見直しを行い、迅速に実施できるように改めた。
9	ICTと合同院内ラウンドの実施を開始	月に2～4回の頻度で行われているICTラウンドに同行し、感染制御部と安全管理室との合同ラウンドを定期的の実施するようにした。中央部門を中心に17部署へラウンドした。
10	医療安全管理指針・医療安全管理マニュアル（第13版）の改訂と配布	第13版として内容を改訂し、新しい冊子の配布を行なった。医療安全管理指針とマニュアルとに分けて作成し直し、制度変更や内容更新に対応できるようにした。インフォームドコンセントに関する項目及び電子カルテ内基本情報等に入力する情報などが追加された。
11	医療事故調査等要綱の改訂	「医療事故調査制度」の開始に伴い、それに対応するため当院の「医療事故調査等要綱」を改訂し、変更点についての周知を行なった。
12	患者参加型の転倒転落予防の取組み	「入院のご案内」と一緒に渡している転倒転落防止のための協力依頼文の内容を変更し、入院中の履物に対する注意喚起と啓発を促すようにした。また、院内売店でのスリッパ販売の中止要請を行なった。
13	酸素架台の確認と交換	当院にある酸素架台82台を全て調査し、部品が欠品しているなど不良品に関して交換を行なった。併せてベッド柵の形状の確認も行った。
14	「安全ポッケ第4版」の配布	医療安全管理指針・医療安全マニュアルの改訂を受けて、安全ポッケを改訂し、全職員に配布をした。病病情報端末からも出力できるように、「院内共通資料」の項にPDF化して掲載し、活用しやすい環境を整えた。

	検討項目	改善検討内容
15	チーム医療の推進	安全管理室スタッフのTeam STEPPS研修の見学・参加を経て、リスクマネジャーを中心に同研修を導入することとした。今年度は計2回（参加者計96名）実施した。
16	注射剤の速度指示に対する取組み	注射剤速度指示を入力しやすいよう、「キープ」「指示コメント参照」の注射処方時のマスタコメントを追加した。クリニカルパスでの注射速度見直しを診療科に依頼、病棟での指示実施状況を把握し周知した。
17	患者参加型医療に関する啓発ポスターの貼付	外来診察ブースに、患者確認協力依頼のポスターを一定期間貼付し、患者参加型医療への啓発を推進した。
18	院外処方せんへの臨床検査値表示	外来薬物療法の安全性向上の観点から、院外処方せんに血液検査の結果の一部や患者の身体情報を自動的に印字できるようにした。
19	電子カルテ掲載文書の様式承認制度試行	診療情報管理部門と協働し、説明書等の必要項目を検討し標準様式を作成した。標準様式に沿った説明書の作成をいくつかの診療科と試行し、文書の様式承認制度を再開させることとした。
20	間歇的投与薬剤に対する注意喚起	連日投与を通常は行なわない薬剤について、薬剤部と協働して薬剤名称や処方せん上に「連日投与禁」の注意喚起文が表示できるようにマスタ変更を実施した。
21	画像検査依頼票への情報付与	他科から依頼された検査結果が確実に患者に伝わるように、画像検査依頼票に次回診察予約日と次回MRI情報を掲載するようにして、有所見者の次回診察日等を確認しやすいようにした。
22	アプニアモニターの導入	新生児呼吸窮迫症候群の早期発見と突然死の予防対策として、母子同室中の新生児の呼吸状態把握を目的に、アプニアモニターを導入した。20台を導入し、マット式のものも2台購入した。

参 考 資 料

(平成 28 年 7 月 8 日)

1 医療安全管理体制		1
2 安全管理対策委員会開催状況		3
3 リスクマネジャー会議の活動状況		8
4 安全管理研修の開催状況		12
5 入院患者さんアンケート		24

1 医療安全管理体制

医療安全管理の組織体制

○統括安全管理者

副病院長の内の1名を任命し、病院における医療安全管理の推進、情報の収集・分析・評価等、医療安全管理活動の推進責任者として位置付けています。

○安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理全般にわたる指導、改善指示、職員研修の企画等を行う職として「安全管理指導者」を置き、「医療安全・医療管理学」准教授（附属病院）、「医療安全管理学」准教授（センター病院）をあてております。安全管理指導者は、医療安全管理学の学生教育も行っています。

○安全管理者（リスクマネジャー）

医療安全管理に関する職場点検、業務改善、教育・指導、事故発生時の対応及び報告等を行うため、各病院の「医療安全管理室」に安全管理担当課長または担当係長を2名（看護師、薬剤師）配置しているほか、診療部門・看護部門等の各部門に70余名の安全管理者（リスクマネジャー）を配置しています。

安全管理の推進のための委員会活動

○安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長として、病院の医療安全管理活動を推進する中心として活動しており、インシデント報告の検討、改善策の検討と評価、医療安全管理の情報収集等を行っています。

○リスクマネジャー会議

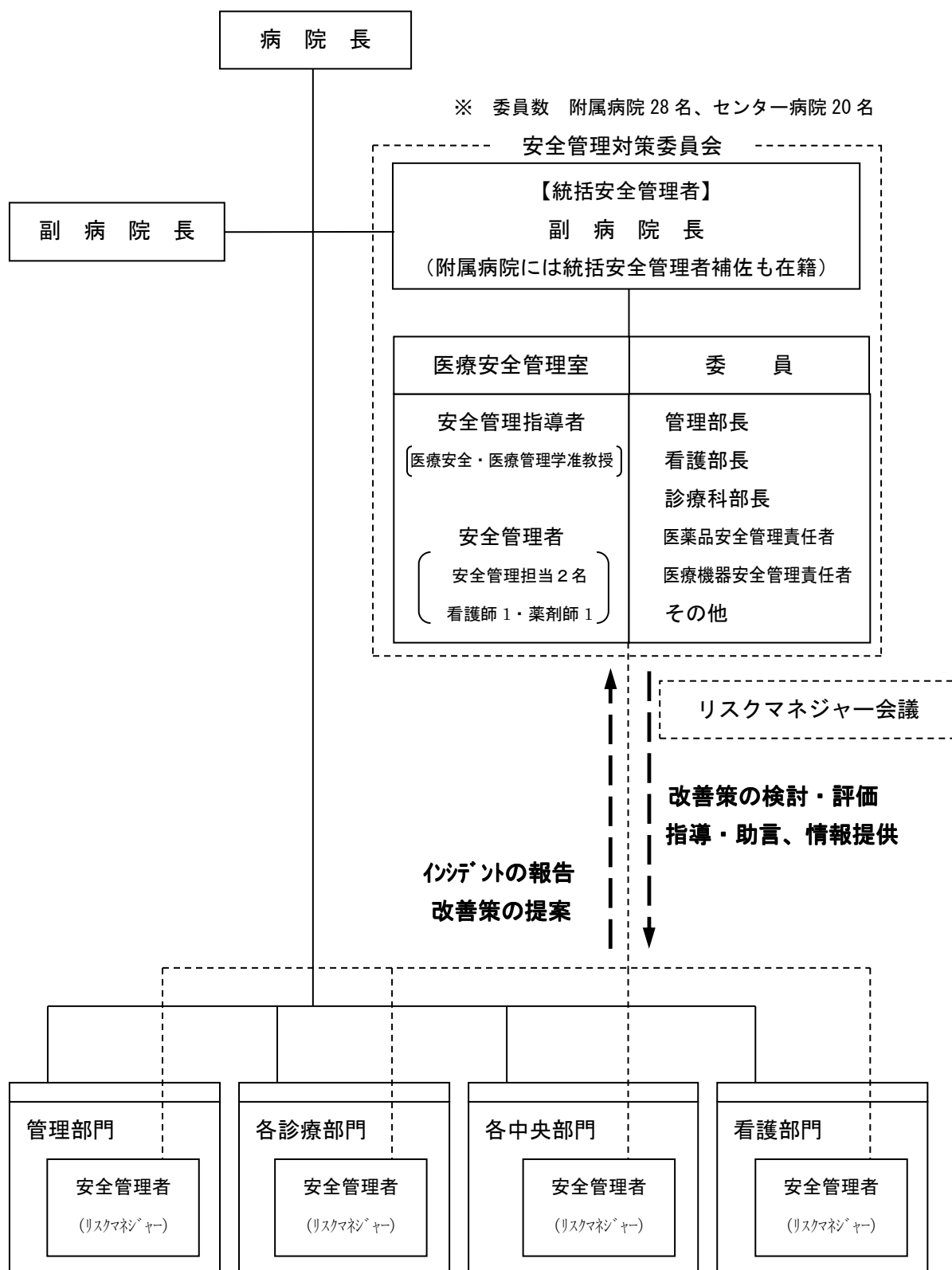
インシデント事例についての検討、各部署の取組の紹介、改善策の周知、「事故予防マニュアル」の作成、医療安全管理の情報提供等を行い、職員の安全管理意識を高める場としています。

インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネジャーから医療安全管理室に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネジャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

市立大学附属2病院 安全管理体制図



※ 各部門のリスクマネジャー 附属病院 71 名、センター病院 77 名
(委員等の人数は平成 28 年 4 月 1 日現在)

2 安全管理対策委員会の活動状況

附属病院

開催日		主な議題
第1回	4/27	1 前回議事録の確認 2 今年度の医療安全体制について 3 医療安全に関する研修について 4 今年度のRM会議について 5 医療関連ニュースについて 6 院内医療事故会議について 7 事例報告 8 医薬品安全管理者からの報告事項 9 医療機器安全管理者からの報告事項 10 インシデントの件数と共有について 11 中心静脈穿刺全数調査について 12 リスクマネジャーへの月次配布物について 13 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 14 薬剤情報提供について
第2回	5/25	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 インシデントシステムの変更について 8 薬剤師の疑義照会の報告について 9 リスクマネジャーへの月次配布物について 10 院内通知文のレベルについて 11 電子カルテの指示入力の方角性について
第3回	6/22	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 集中立入検査について 8 リスクマネジャーへの月次配布物について 9 医療安全マニュアルの変更について
第4回	7/27	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 鎮静管理プロジェクトからの報告事項 8 集中立入検査について 9 リスクマネジャーへの月次配布物について 10 安全文化調査について 秋頃実施予定 11 中心静脈穿刺全数調査について（4-6月） 12 医薬品安全使用のための業務手順書の改訂について 13 医療安全管理指針の改正について 14 医療安全マニュアル改正について
第5回	8/17	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 集中立入検査について 8 4～6月までのインシデント報告について 9 インシデントシステムの更新について 10 リスクマネジャーへの月次配布物について 11 鎮静マニュアルの改正について 12 II-1図2医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の附属病院における運用体制

開催日		主な議題
第6回	9/28	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 患者からの安全管理に関わる相談報告 8 集中立入検査・横浜市による医療監視について 9 インシデントシステムの更新について 10 外来ネームバンドの運用について 11 ポケット版医療安全管理指針・マニュアルの改定時期について 12 安全文化調査について 13 リスクマネジャーへの月次配布物について 14 医療事故調査制度の対応について 15 医療安全管理指針の改正について
第7回	10/19	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 患者からの安全管理に関わる相談報告 8 リスクマネジャーへの月次配布物について 9 シングルユース（単回使用）器材の再使用について 10 医療事故調査制度開始について 11 病院機能評価の第1回自己評価の実施について
第8回	11/30	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 1月の患者確認強化月間について 6 医薬品安全管理者からの報告事項 7 医療機器安全管理者からの報告事項 8 患者からの安全管理に関わる相談報告 9 リスクマネジャー会議の次年度課題について 10 リスクマネジャーへの月次配布物について 11 院内学級・院内保育所に勤務する教員・保育士の感染予防等の取扱い 12 中心静脈カテーテルマニュアル改正について
第9回	12/21	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 1月の患者確認強化月間について 6 医薬品安全管理者からの報告事項 7 医療機器安全管理者からの報告事項 8 患者からの安全管理に関わる相談報告 9 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 10 輸血療法マニュアルの改正について 11 リスクマネジャーへの月次配布物について 12 子どもの外傷初期対応フローチャートについて 13 ドクターコールバックについて 14 持参薬に関するリスク要因提案書について
第10回	1/25	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 10～12月までのインシデント件数報告 6 死亡症例について 7 医薬品安全管理者からの報告事項 8 医療機器安全管理者からの報告事項 9 患者からの安全管理に関わる相談報告 10 CVCプロジェクト 中心静脈穿刺全数調査について 11 CV同意書の変更について 12 リスクマネジャーへの月次配布物について 13 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について

開催日		主な議題
第11回	2/22	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議の報告 6 過去入院の必要時指示が終了されていなかった事例 7 ネームバンドのバーコード修正について 8 医薬品安全管理者からの報告事項 9 医療機器安全管理者からの報告事項 10 患者からの安全管理に関わる相談報告 11 術者資格の更新について 12 患者確認強化月間について 13 リスクマネジャーへの月次配布物について 14 鎮静マニュアル改正について 15 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について
第12回	3/28	1 前回議事録の確認 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理者からの報告事項 6 医療機器安全管理者からの報告事項 7 患者からの安全管理に関わる相談報告 8 電子カルテ文書入力レイアウト統一について 9 インシデントレポート項目の変更について 10 リスクマネジャーへの月次配布物について 11 内視鏡処置時における鎮静薬使用に関する同意書 12 平成28年度 会議日程 13 酸素流量カードの使用について 14 診療内容説明書改正について 15 オカレンス報告改正について

センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月6日	1 統括安全管理者挨拶 2 平成27年度安全管理対策委員会 委員と日程について 3 医療関連ニュース（平成27年2月26日～平成27年3月25日） 4 第164回リスクマネージャー会議（3/9）報告 5 新任職員への医療安全に関するオリエンテーションについて 6 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）3月巡回報告 7 リエゾンチーム（3月）報告 8 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（3/12）報告 9 平成27年度安全管理対策委員会各プロジェクトメンバーについて 10 中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクト報告 11 リスクマネージャーグループワークに関して 12 第1回医療安全講演会（4/20）について 13 意見交換（医療安全から医療の質向上にむけた課題について）
第2回	5月11日	1 医療関連ニュース（平成27年3月26日～4月28日分） 2 第165回リスクマネージャー会議（4/13）報告 3 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告 4 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）4月巡回報告 5 リエゾンチーム（4月）報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（4/9）報告 7 院外処方せんのレイアウト変更及び臨床検査値の表示について 8 平成27年度 安全管理対策委員会各プロジェクトメンバーについて 9 中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクト報告 10 e-Learning「医療安全基本の10問」開講 11 診療科部長・リスクマネージャーと統括安全責任者・安全管理室との個別面談開始について 12 医療安全講演会アンケート報告 13 事例情報共有 14 患者安全推進ジャーナル配布
第3回	6月1日	1 医療関連ニュース（平成27年4月30日～5月20日分） 2 第166回リスクマネージャー会議（5/18）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）5月巡回報告 4 リエゾンチーム（5月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（5/13）報告 6 診療科部長・リスクマネージャーと統括安全責任者・安全管理室との個別面談状況について 7 事例情報共有 8 中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクト報告
第4回	7月6日	1 医療関連ニュース（平成27年5月21日～6月24日分） 2 第167回リスクマネージャー会議（6/8）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）6月報告 4 リエゾンチーム（6月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（6/11）報告 6 患者安全推進ジャーナル配布 7 患者死亡時の対応フローチャートについて 8 クリニカルパスにおける不眠時指示の検討依頼について 9 医療安全管理指針、医療安全マニュアルについて
第5回	8月3日	1 医療関連ニュース（平成27年6月25日～7月22日分） 2 第168回リスクマネージャー会議（7/13）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）7月巡回報告 4 リエゾンチーム（7月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（7/9）報告 6 医療事故報告書 他院の報告書に学ぶ 7 医療安全管理マニュアル修正に関する報告 8 安全ポッケ第4版の作成に向けた取り組み
第6回	9月7日	1 医療関連ニュース（平成27年7月23日～8月26日分） 2 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）8月巡回報告 3 リエゾンチーム（8月）報告 4 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（8/6）報告 5 医療安全管理指針・医療安全マニュアル第13版の配布 6 医療事故調査制度開始にあたって

開催日		主な議題
第7回	10月5日	1 医療関連ニュース（平成27年8月27日～9月18日分） 2 第169回リスクマネジャー会議（9/14）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）9月巡回報告 4 リエゾンチーム（9月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（9/10）報告 6 医療安全巡回について 7 転倒転落プロジェクト活動報告 8 e-Learning「医療安全基本の10問」「医療コミュニケーション」実施報告 9 Team STEPPS研修について 10 「患者死亡時のフローチャート」、「事故調査委員会要綱」の改訂について
第8回	11月2日	1 医療関連ニュース（平成27年9月19日～10月21日分） 2 第170回リスクマネジャー会議（10/19）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）10月巡回報告 4 リエゾンチーム（10月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（10/15）報告 6 医療安全巡回について 7 平成27年度上半期インシデント報告 8 TeamSTEPPS研修開催と見学報告 9 医療安全管理指針・医療安全マニュアルの一部改訂について 10 事例共有 11 患者安全推進ジャーナル配布
第9回	12月7日	1 医療関連ニュース（平成27年10月22日～11月25日分） 2 第171回リスクマネジャー会議（11/9）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）11月巡回報告 4 リエゾンチーム（11月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（11/19）報告 6 医療安全巡回報告 7 平成27年度上半期インシデント報告 8 注射剤速度指示に関する報告 9 事例共有 10 医療安全マニュアルの一部改訂について 11 第1回TeamSTEPPS研修（12/17）について
第10回	1月12日	1 医療関連ニュース（平成27年11月26日～12月22日分） 2 第172回リスクマネジャー会議（12/14）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）12月巡回報告 4 リエゾンチーム（12月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（12/3）報告 6 調剤支援システム更新報告 7 研修会に関する報告・案内 8 院内死亡事例共有実施状況報告 9 医療監視指摘事項について 10 事例共有
第11回	2月1日	1 医療関連ニュース（平成27年12月25日～平成28年1月20日分） 2 第173回リスクマネジャー会議（1/18）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）1月巡回報告 4 リエゾンチーム（1月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（1/14）報告 6 研修会に関する報告・案内 7 安全ポッケ第4版 院内共通資料への掲載報告 8 総合サポートセンターとの連携体制について
第12回	3月7日	1 医療関連ニュース（平成28年1月21日～2月24日分） 2 第174回リスクマネジャー会議（2/8）報告 3 RST（レスピラトリー・サポート・チーム）2月巡回報告 4 リエゾンチーム（2月）報告 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議（2/18）報告 6 総合サポートセンター報告 7 研修会に関する報告 8 平成28年度 安全管理対策委員会開催予定 9 事例共有

3 リスクマネジャー会議活動状況

附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月20日	1 前回議事録の確認 2 今年度の医療安全管理体制について 3 今年度のRM会議の形態について 4 院内の医療安全に関する研修について 5 院外の医療安全に関する研修について 6 医療関連ニュースについて（医療安全情報について） 7 事例報告 8 USBの紛失について 9 ネームバンドの出力プリンターについて 10 月次配布物
第2回	5月11日	1 前回議事録の確認 2 H26年度インシデント件数報告 3 院内の医療安全に関する研修について 4 医療関連ニュースについて（医療安全情報について） 5 手術・侵襲的処置・検査の術者資格等に関するアンケート結果 6 8月24日 医療監視に向けて ※8月3日リスクマネジャー会議開催します 7 事例報告 8 月次配布物（後日、本日の事例等と合わせて配信します） 9 鎮静ワーキングから SpO2キットについて 10 グループワークの進め方
第3回	6月1日	1 前回議事録の確認 2 インシデントピーク対応について 3 院内の医療安全に関する研修について 4 医療関連ニュースについて（医療安全情報について） 5 麻薬金庫の暗証番号変更の件 6 「医薬品安全使用のための業務手順書」に基づく確認について 7 事例報告 8 薬剤の疑義照会事例 9 術者資格等の依頼について 10 新採用者研修名簿確認依頼について 11 転入職に向けたアンケートの実施について 12 月次配布物（後日、本日の事例等と合わせて配信します）
第4回	7月6日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤の疑義照会事例 6 医療安全マニュアルの改正について 7 7月9日 適時調査について 8 院内掲示物について 9 8月24日 集中立入検査について 10 月次配布物・医療安全情報
第5回	8月3日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 事例報告 4 薬剤の疑義照会事例 5 輸血実施時のダブルチェックについて（二人目の人もID入力が必要となります） 6 安全文化調査について（秋頃実施予定） 7 医療安全管理指針・マニュアルの改正について 8 筋弛緩薬の払い出し方法について（8月11日より伝票が変わります） 9 医薬品の業務手順書の更新について 10 院内ラウンドについて（実施期間8月17日～9月18日） 11 8月24日集中立入検査・医療監視について 12 月次配布物（本日の事例等と合わせて配信します）
第6回	9月7日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 横浜市医療安全研修会 4 医療関連ニュース 5 事例報告 6 薬剤の疑義照会事例 7 新インシデントシステム 8 集中立入・医療監視について 9 CV全数調査、CVプロジェクト報告 10 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します）

開催日		主な議題
第7回	10月5日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 新インシデントシステムファントルくん使用説明 4 医療関連ニュース 5 事故調査制度開始に伴う当院の考え方について 6 外来ネームバンド運用開始のお知らせ 7 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 8 新採用者・転入者医療安全研修 未受講者
第8回	11月9日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュース 4 事例報告 5 附属病院の医療安全月間について 6 薬剤の疑義照会事例 7 医療における安全文化に関する調査について＜11月20日（金）回収＞ 8 旧インシデントシステム表示について 9 医薬品の業務手順書の更新について 10 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 11 新採用者・転入者医療安全研修について 未受講者へ通知を配布済
第9回	12月7日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュース 4 事例報告 5 附属病院の医療安全月間について 6 ドクターコールバックについて 7 中心静脈カテーテルマニュアル改正について 8 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 9 グループワークの報告会について
第10回	1月18日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュース 4 事例報告 5 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 6 看護師のCVC管理研修の実施について 7 子どもの外傷初期対応フローチャートの運用開始について 8 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 9 グループワークの報告会について（E～Hグループ）
第11回	2月1日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュース 4 事例報告 5 疑義紹介事例 6 患者確認強化月間の振り返りについて 7 インシデント研修報告と「その他」の対応について 8 医療安全巡視（後期） 9 次年度のRMグループワークについて 10 安全文化調査の結果報告について 11 CV同意書の運用変更について 12 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 13 グループワークの報告会について（E～Fグループ）
第12回	3月7日	1 前回議事録の確認 2 院内の医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュース 4 事例報告 5 疑義紹介事例 6 患者基本情報の入力状況 7 患者確認強化月間・外来報告について 8 医薬品の業務手順書について 9 次年度のRMグループワークについて 10 経管栄養の手引きについて 11 月次配布物について（本日の事例等と合わせて配信します） 12 グループワークの報告会について（G・Hグループ） 13 医療安全マニュアル改正について

センター病院

開催日		主な議題
第 1 回	4月13日	1 統括安全管理者挨拶 2 第180回安全管理対策委員会（4/6）報告 3 医療関連ニュース（平成27年2月26日～3月25日分） 4 報告事項 5 平成27年度リスクマネージャー一覧、会議日程等について 6 事例報告 7 第1回医療安全講演会（4/20）について 8 CVC講習会日程予定 9 患者安全推進ジャーナルの配布とアンケート調査について
第 2 回	5月18日	1 第181回安全管理対策委員会（5/11）報告 2 医療関連ニュース（平成27年3月26日～4月28日分） 3 医療安全情報No. 101、No. 102 の配布 4 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告 5 診療科部長とリスクマネージャー、統括安全管理者・安全管理室との個別面談実施について 6 e-Learning「センター病院・医療安全基本の10問」開講 7 CVC講習会日程予定 8 病理診断結果の確認漏れの再発防止について 9 事例報告 10 グループワーク活動
第 3 回	6月8日	1 第182回安全管理対策委員会（6/1）報告 2 医療関連ニュース（平成27年4月30日～5月20日分） 3 診療科部長とリスクマネージャー、統括安全管理者・安全管理室との個別面談実施について 4 CVC講習会日程予定 5 安全管理マニュアルの作成状況について 6 睡眠薬使用における留意点 7 事例報告
第 4 回	7月13日	1 第183回安全管理対策委員会（7/6）報告 2 医療関連ニュース（平成27年5月21日～6月24日分） 3 医療安全情報 No. 103 配布 4 患者安全推進ジャーナルNo. 40 配布と説明 5 医療安全マニュアル配布・変更点説明 6 グループワーク活動
第 5 回	9月14日	1 第184・185回安全管理対策委員会（8/3、9/7）報告 2 医療関連ニュース（平成27年6月25日～8月26日分） 3 医療安全管理指針・医療安全マニュアル配布、安全ポッケ改訂のご案内 4 注射薬の速度指示、アンケート報告並びに注射剤用法コメント・クリパス速度指示見直し・病棟内ルール確認のお願い 5 院外処方せんへの臨床検査値表示の周知について 6 医療事故調査制度についての説明 7 グループワーク活動
第 6 回	10月19日	1 第186回安全管理対策委員会（10/5）報告 2 医療関連ニュース（平成27年8月27日～9月18日分） 3 患者安全推進ジャーナル No. 41・医療安全情報 No. 106 No. 107 配布 4 インシデント報告（平成27年4月～9月） 5 医療安全巡回について 6 e-learning「医療安全基本の10問」「医療コミュニケーション」実施報告 7 TeamSTEPPS研修について 8 医療事故調査制度：患者死亡時の対応フローチャートについて 9 グループワーク4グループよりアンケートのお願い
第 7 回	11月9日	1 第187回安全管理対策委員会（11/2）報告 2 医療関連ニュース（平成27年9月19日～10月21日分） 3 安全ポッケ第4版配布と医療安全管理指針・医療安全マニュアル差し替え 4 医療安全巡回について 5 医療安全推進週間 6 TeamSTEPPS研修について 7 輸血に関するルールの再確認 8 事例報告

開催日		主な議題
第8回	12月14日	1 第188回安全管理対策委員会（12/7）報告 2 医療関連ニュース（平成27年10月22日～11月25日分） 3 医療安全情報 No. 108 配布 4 医療安全マニュアル差替えのお願い 5 医療安全巡回報告 6 医療安全推進週間報告 7 注射剤速度指示に関する報告 8 研修会に関する案内 9 グループワーク活動
第9回	1月18日	1 第189回安全管理対策委員会（1/12）報告 2 医療関連ニュース（平成27年11月26日～12月22日分） 3 ミニレクチャー 「気道閉塞」（集中治療部・大塚医師） 4 医療安全情報 No. 109 配布 5 患者安全推進ジャーナル No. 42 配布 6 調剤支援システム更新報告 7 研修会に関する案内 8 グループワーク発表
第10回	2月8日	1 第190回安全管理対策委員会（2/1）報告 2 医療関連ニュース（平成27年12月25日～平成28年1月20日分） 3 医療安全情報 No. 110 配布 4 研修会に関する報告 5 平成28年度 診療科リスクマネジャー選出依頼 6 グループワーク発表
第11回	3月14日	1 第191回安全管理対策委員会（3/7）報告 2 医療関連ニュース（平成28年1月21日～2月24日分） 3 医療安全情報 No. 111 & PMDA医療安全情報 No. 48 配布 4 研修会に関する報告 5 中心静脈カテーテル挿入・留置実技講習会のお知らせ 6 事例報告 7 平成28年度リスクマネジャーについて

4 安全管理研修の開催状況

附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用・転入者 医療安全研修	4/13 4/13 4/14 5/1 eL	新採用・転入職 員、前期研修医2 年目、大学院生	105人 117人 8人 4人 121人	1.5時間	・医療安全の考え方 ・ポケット版医療安全管理冊子の見方 ・個人情報 ・MRI PET ・研修医 ・手術 ・診療録 講師：医療安全管理者
MR磁場体験研修	4/7 4/8 5/20 6/17 7/15 11/18	附属病院職員	15人 14人 15人 15人 6人 7人	1時間	・DVDによる説明 ・MR室内での実地研修 講師：放射線技師
中心静脈カテーテル 講習会	4/28 5/27 10/13 1/15	医師・ 研修医	24人 25人 7人 35人	2時間	・講義、シミュレーターを使用した実技演習 講師：CVCプロジェクトメンバー
人工呼吸器研修 レベルⅠ	5/15 6/12 7/10 9/11	医師・ 看護師・ 研修医・ 医学部生	17人 18人 18人 9人	1.5時間	・人工呼吸器教育・研修プロジェクト主催 講師：医師、看護師、臨床工学技士
人工呼吸器研修 レベルⅡ	7/24 9/18 10/16	レベルⅠ受講者	8人 7人 6人		
鎮静管理勉強会	10/2 10/4	医師、看護師	24人 14人	1時間	講師：鎮静管理プロジェクトメンバー
心肺蘇生講習会	7/15 8/26 9/14 9/30 10/21	全職員	14人 16人 9人 7人 4人	1時間	心肺蘇生法（胸部圧迫の方法やAEDの取扱い等）について 講師：心肺蘇生WGメンバー
TeamSTEPPS研修	5/18 6/23 7/8 9/24 10/23 11/25	全職員	79人 78人 72人 71人 75人 73人	1.5時間	参加型医療安全研修 講師：安全管理指導者 ファシリテーター：医師、看護師、薬剤師、事務
第1回 医療安全講演会 および ビデオ講演会	4/13 4/14 4/27 4/28 4/30 4/30 5/1 5/1 5/1 5/7 DVD	全職員	374人 8人 73人 79人 89人 62人 4人 84人 38人 1人 4人	1時間	「附属病院の医療安全の歩み」 講師：安全管理指導者
第2回 医療安全講演会 および ビデオ講演会	5/13 5/25 5/26 5/26 5/27 5/28 5/28 5/29 5/29 6/8 6/8 6/9 6/9 DVD	全職員	310人 14人 90人 72人 131人 151人 86人 147人 43人 34人 36人 31人 18人 3人	1時間	「安全対策に潜む落とし穴 ～効果的なダブルチェックとは～」 講師：電気通信大学大学院 情報システム学研究科教授
第3回 医療安全講演会	7/7 DVD	全職員	346人 4人	1時間	「電子カルテ更新に伴う周知事項」 ◆患者基本ワーキング 講師：安全管理指導者 ◆診療記録ワーキング 講師：医療情報部長 ◆入院指示ワーキング 講師：消化器・腫瘍外科学医師 ◆外来指示ワーキング 講師：外科治療学医師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
第4回 医療安全講演	10/26 11/2 11/10 DVD	全職員	259人 42人 50人 43人	1時間	「診療・臨床研究実施上の倫理の留意点」 ・診療上、臨床倫理で扱うべきこと 講師：臨床倫理委員会 委員長 ・横浜市立大学における研究倫理規定の運用と課題ー新たな 本学倫理審査・運営制度についてー 講師：病理診断科教授 ・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の留意点 講師：研究倫理委員会 委員長 ・よい臨床研究、ダメな臨床研究 講師：臨床統計学教授
第5回 医療安全講演会	1/27 2/1 2/2 2/2 2/3 2/3 2/4 2/5 2/5 2/8 DVD	全職員	218人 80人 80人 30人 77人 43人 72人 84人 31人 45人 6人	1時間	「リスクマネージャーによるグループワークの取り組み報告」 ◆患者確認動画（外来・病棟・手術） 講師：G・Hグループ ◆転倒転落後の初期対応について：Fグループ 「医療における安全文化に関する調査結果について」 講師：安全管理指導者
第6回 医療安全講演会	2/16 2/22 2/23 2/23 2/24 2/26 2/26 3/3 DVD	全職員	145人 27人 48人 13人 49人 28人 17人 23人 2人	1時間	・「がん告知マニュアル」について 講師：がん化学療法センター長 ・「延命措置をしないということを考える」 講師：生命倫理政策研究会 共同代表自治医科大学 客員研究 員 東京財団研究員
ステップⅡパート1 （看護技術）研修	4/11 4/12 4/13	看護職（新採用 職員）	62名 62名 62名	24時間	基本的な看護技術を学び、基本的な看護技術のイメージ化が 図れる。 講師：専門看護師、認定看護師
ステップⅡパート2 （看護技術）研修	5/23	新人看護職員	61名	14時間	基本的な看護技術を学び、基本的な看護技術のイメージ化が 図れる。 講師：専門看護師、認定看護師
フィジカルアセスメ ントⅡパート1研修	6/10 6/24	C D P 2	60名	4時間	患者アセスメントに必要なフィジカルアセスメントの理解を 深め、3つ（呼吸・循環・意識）の視点を学び、看護過程に 活かす。 講師：救急部医師、集中ケア認定看護師
新人ステップⅢ（B L S①&タイムマネ ジメント）研修	7/6 7/8	新人看護職員	5名	8時間	日常業務の中で周囲にSOSを出し適切な時間管理ができる。： 6-2病棟 高橋 宏子看護師長、B L Sを習得する。 講師：救急看護認定看護師
新人ステップⅣ （フィジカルアセス メント）研修	8/25 8/26	新人看護職員	63名	7時間	フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠を持って観察で きる。・報告と相談の大切さを理解できる。 講師：看護学科 基礎看護学准教授
フィジカルアセスメ ントⅡパート2研修	9/2 9/9	C D P 2	60名	4時間	患者アセスメントに必要なフィジカルアセスメントの理解を 深め、3つ（呼吸・循環・意識）の視点を学び、看護過程に 活かす。 講師：救急部医師、集中ケア認定看護師
B L S②研修	9/2 9/9	C D P 2	60名	4時間	ベッドサイドでの急変に備えてB L Sを習得する。ベッドサ イドでの急変時の対応がイメージできる。ベッドサイドでの 心肺蘇生術が体験できる。 講師：救急看護認定看護師
急変シミュレーショ ンメンバー編研修	8/31午前 8/31午後	C D P 2以上	34名 35名	4時間	急変時における自己のメンバーシップ役割を知る。 急変時に必要な技術を習得する。 急変時の状況変化を予測し、行動する。 講師：集中ケア認定看護師
新人処置別感染対策 ケア研修	5/23	新人看護職員	61名	4時間	中心静脈カテーテル挿入中患者の看護、膀胱留置カテーテル の挿入方法、管理について学ぶ 講師：感染管理認定看護師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
急変シミュレーションリーダー編研修	10/7 10/14	C D P 3 以上	20名 17名	4時間	急変時におけるメンバーシップ、リーダーシップがわかり、演習により行動を学ぶ。急変時に必要なノンテクニカルスキルを学ぶ。 講師：救急看護認定看護師
新人ステップⅥ（リスクアセスメント・多重業務）研修	11/9 11/20	新人看護職員	60名	8時間	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護が提供できる。多重業務場面における看護の優先順位が付けられる。 講師：安全管理担当看護師長、教育担当看護師長
フィジカルアセスメントⅡパート3研修	12/7 12/14	C D P 2	60名	4時間	患者アセスメントに必要なフィジカルアセスメントの理解を深め、3つ（呼吸・循環・意識）の視点を学び、看護過程に活かす。 講師：集中ケア認定看護師
呼吸管理（気管切開患者の呼吸管理、人工呼吸器の管理と看護）研修	12/9	CDP2以上、神奈川県看護協会公開研修	14名	8時間	安全を視点に、気管カニューレ挿入中の呼吸管理についての基本的知識・技術を学び、部署の看護実践に活かす。 講師：集中ケア認定看護師
がん化学療法看護Ⅱ（公開研修）研修	12/10	CDP2以上、神奈川県看護協会公開研修	28名	5時間	がん化学療法を安全・安楽・確実に実施するための看護師の役割が理解できる。 講師：化学療法センター医師、薬剤師、がん化学療法認定看護師、がん看護専門看護師、がん性疼痛認定看護師
がん放射線看護基礎研修（公開研修）	12/10	CDP2以上、神奈川県看護協会公開研修	29名	3時間	がん放射線看護を行う上での看護師の役割を理解することができる。 講師：がん放射線看護認定看護師、放射線科医師
災害看護研修	9/30	C D P 2 以上	24名	4時間	災害看護の基礎を学ぶ。 講師：救急看護認定看護師
フィジカルアセスメントⅢ研修	8/27	C D P 3 以上	25名	4時間	臨床推論を学ぶ。 講師：急性期重症患者専門看護師（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師
静脈注射（血管確保）研修	7/1 12/17	C D P 2 以上	100名	4時間	末梢静脈留置針による血管確保を含む、静脈注射を安全に実施するための知識・技術を習得する。 講師：安全管理担当係長、薬剤師、救急部医師、感染管理担当係長、副看護部長
急変予兆トレーニング研修	1/13	C D P 3 以上	36名	4時間	急変予兆のトレーニング 講師：集中ケア認定看護師、救急看護認定看護師、教育委員
危険予知トレーニングKYT研修	1/18	CDP3以上、安全委員	44名	4時間	危険予知トレーニングについて学ぶ 講師：愛媛大学附属病院医療安全管理室副部長
CVC管理研修	1/7 1/15 1/21 1/22 1/25 2/12 2/17 2/22 2/25 3/2 3/8 3/15 3/22 3/29	看護師	30人 21人 21人 22人 14人 23人 20人 20人 22人 30人 27人 28人 26人 28人	2時間	CVC挿入・管理マニュアルの内容を理解し、CVCルート交換とヘパリン生食ロックの手技について学ぶ 講義：麻酔科 佐藤 仁医師 手技：CV管理プロジェクト、他
感染対策推進部会	4/16	感染対策推進部会員	50人	30分	「標準予防策と手指衛生」 講師：薬剤師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
平成27年度研修医セミナー	4/30	研修医	52人	60分	「麻薬の取り扱いについて」 講師：薬剤師
平成27年度5月がんリンクナース会	5/14	看護師	25人	15分	「麻薬関連のお知らせ～フェンタニル貼付剤について～」 講師：薬剤師
病棟勉強会（9-1）	6/9	看護師	20人	30分	「標準予防策と手指衛生」 講師：薬剤師
抗がん剤処方について・薬を処方するときの注意点	7/2	医師	20人	60分	「抗がん剤処方について・薬を処方するときの注意点」 講師：薬剤師
病棟勉強会（HCU）	7/6 7/17	看護師	10人	15分	「せん妄と薬剤について」 講師：薬剤師
平成27年度7月 感染リンクナース会	7/16	看護師	23人	30分	「抗菌薬について」 講師：薬剤師
病棟勉強会（8-4）	9/15	看護師	10人	30分	「抗菌薬について」 講師：薬剤師
病棟勉強会（HCU）	11/13	看護師	10人	30分	「簡易懸濁法について」 講師：薬剤師
看護部勉強会	11/30	看護師	30人	60分	「鎮痛薬の特徴と副作用」 講師：薬剤師
病棟勉強会（9-3）	1/14	看護師	10人	15分	「消毒薬について」 講師：薬剤師
看護部業務委員会	3/4	看護師	30人	45分	「薬剤の監査方法、化学療法患者への服薬説明」 講師：薬剤師
全身麻酔器研修	4/3 4/27 5/27 6/29 7/27 8/24 8/25 9/28 10/23 10/29 11/25 11/30 12/24 2/24 3/28 3/31	麻酔科研修医師	3人 1人 3人 7人 2人 5人 2人 4人 1人 1人 1人 2人 1人 2人 2人 2人	1時間	全身麻酔器研修の安全操作研修 手術室 Fabius GS・Tiro Aysis 講師：麻酔科医師
補助循環装置研修	7/10 2/4 2/4 2/9 2/19 2/19 2/22 2/22 2/26 2/26 2/29 2/29 3/4 3/7 3/7 3/9 3/10 3/10 3/11 3/11 3/15 3/15 3/18 3/18	医師 看護師 臨床工学技士	11人 8人 6人 2人 2人 8人 1人 3人 1人 3人 1人 4人 2人 5人 5人 1人 5人 5人 5人 5人 5人 5人 5人	1時間	人工心肺回路の変更点と作法のおさらい 安全な補助循環装置の操作研修 BIOMED VAD取り扱い説明 AB5000 ABPortable 講師：臨床工学技士

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
人工呼吸器研修	6/25 6/25 7/24 8/21 8/28 9/9 9/10 10/16 11/2 12/2 12/21 12/21	医師 研修医 看護師	5人 6人 16人 17人 10人 10人 6人 5人 6人 11人 5人 10人	1時間	人工呼吸器研修の安全な操作研修 SERVO-n、SERVO-U、BiPAP Vision、Trilogy02、 Triloy100Plus、Servo-i、Babylog勉強・説明会 講師：臨床工学技士
血液浄化装置研修	5/12	看護師	4人	1時間	安全な透析装置操作研修 講師：臨床工学技士
除細動器研修	12/15	看護師	20人	1時間	安全な経皮ペースティングの使い方 講師：臨床工学技士
保育器研修	4/7 5/7 6/2 8/1 1/5 2/2 3/2	研修医	1人 1人 1人 1人 1人 1人 1人	1時間	安全な保育器研修の使用研修 NICU V-2100G/2200 GaleoV707 講師：医師
モニタ研修	4/7 5/14 3/22	医師 看護師 臨床工学技士	4人 7人 25人	1時間	術中モニタリングマニュアル説明、生体情報モニタ勉強会、 EtCO2マスク説明会 講師：医師、臨床工学技士
ネーザルハイフロー 研修	6/15 6/17 6/17	医師 看護師	15人 14人 9人	1時間	安全なネーザルハイフロー使用研修 講師：臨床工学技士
放射線部新採用職員 医療安全研修	4/6	放射線技師	3人	1時間30分	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、職場改善情 報等の運用されている取り組み 講師：放射線技師
患者移乗訓練	5/20	放射線技師	30人	1時間30分	車椅子、ベッドからの患者移乗方法 講師：理学療法士
安全使用のための 医療機器研修	6/16	放射線技師	15人	1時間30分	放射線治療装置2台、診療用放射線照射装置の取扱研修 講師：放射線技師
放射線 安全取扱講習 【新規】	6/15 6/23	放射線技師	48人	1時間30分	新規に放射線取扱業務に従事する職員向けの教育研修 講師：医師
放射線 安全取扱講習 【密封小線源】	6/17	放射線技師	8人	1時間	密封小線源治療に従事する職員向けの教育研修 講師：医師
放射線 安全取扱講習 【核医学】	6/22 7/14	放射線技師	25人	1時間	核医学診療に従事する職員向けの教育研修 講師：医師、他
放射線安全取扱講習 【放射線治療】	7/2	放射線技師	19人	1時間	放射線治療に従事する職員向けの教育研修 講師：放射線技師
機器導入時研修 【FPD】	12/18 12/21 12/22	放射線技師	34人	30分	新規導入機器の安全に関する取扱い 講師：放射線技師
機器導入時研修 【内視鏡光源】	8/31 9/7	放射線技師	34人	30分	新規導入機器の安全に関する取扱い 講師：放射線技師
ドクターコール 説明会	11/2	放射線技師	50人	15分	ドクターコール、部内コールの説明 講師：放射線技師
危険予知 トレーニング	11/4 11/6	放射線技師	22人	1時間	患者確認に関する危険予知トレーニング 講師：放射線技師

センター病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新任医師 オリエンテーション	4/1	新任医師	133名	1.5時間	講義：知っておきたい病院の基本、診療録・医療情報、急患対応、院内の情報伝達、安全管理、感染対策、手術部・麻酔科、施設利用について等 講師：病院長、職員教育研修委員長、呼吸器病センター担当部長、診療情報管理担当係長、高度救命救急センター部長、安全管理指導者、医療情報部長、システム担当係長、手術部長、感染制御部長、感染制御担当看護師長
臨床研修医 オリエンテーション	4/3 4/6 4/7 4/8	1年次 臨床研修医	各38名	全日	講義：知っておきたい病院の基本、研修医としての心がけ、医療倫理、診療におけるコミュニケーション、安全管理、健康管理、院内救急対応・災害医療、感染対策、災害対策、麻薬・処方箋・持参薬の取り扱いについて、医療面接について、チーム医療、実習：医療安全・感染対策、基礎実技（導尿、採血、医療機器）、BLS等 講師：安全管理指導者、血液浄化療法部長、化学療法・緩和ケア部長、精神医療センター部長、高度救命救急センター部長、総合診療科部長、精神医療センター医師、呼吸器内科部長、泌尿器・腎移植科医師、呼吸器病センター医師、集中治療部長、感染制御部長、呼吸器病センター医師、安全管理担当看護師長、感染制御担当看護師長、薬剤部係長、臨床工学担当係長、臨床検査係長ほか
新採用看護職員研修 オリエンテーション	4/3 4/6 4/7	新採用 看護職員	各75名	3日：2.5時間 4日：全日 7日：3.5時間	看護部組織、理念、勤務体制、倫理、接遇、個人情報管理、教育プログラム、組織における役割・心構えと行動について、業務管理、防災・災害管理、安全管理、感染管理、情報管理、 講師：看護部長、副看護部長、看護師長
人工呼吸器取扱研修	4/3 7/6 7/9 7/10 7/23 10/13 10/14 11/6 11/9 1/5	医師、看護師	81名	各1.0時間	人工呼吸器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
新任師長 オリエンテーション	4/6	新任師長	1名	0.5時間	部署の感染管理の視点について 講師：感染制御担当看護師長
新採用者研修	4/6 4/9 4/20	医師、看護師、 臨床工学技士	151名	各2.0時間	輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、酸素ボンベ 講師：臨床工学技士
新採用者 看護技術研修・感染 防止の技術	4/7	新採用 看護職員	75名	2.5時間 × 2回	講義：院内感染・職業感染と予防対策、倫理面について 実技：手指衛生・防護具の正しい着脱・オムツ交換手順 講師：感染制御担当看護師長、感染対策リンクナース
初療室ポータブルX 線撮影装置の 更新に伴う医療機器 導入時研修	4/7	診療放射線技師	48名	0.5時間	講義：ポータブルX線撮影装置（Sirius 130HP：HITACHI）の操作方法と安全な取扱い方 講師：外部講師（メーカー）

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用者 看護技術研修 「BLS」	4/8	新採用 看護職員	73名	2.0時間 × 3回	BLSとAED使用方法の講義と実技演習 講師:高度救命救急センター医師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師、院内BLSインストラクター
新採用者 看護技術研修 「ME機器」	4/9	新採用 看護職員	75名	2.0時間 × 3回	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理、使用方法、注意点・観察事項と酸素ポンプの取り扱い、看護技術手順に基づく技術について演習を通して学ぶ。 講師:臨床工学技士
新採用者 看護技術研修 「酸素療法、生体モニター」	4/10	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	酸素投与および生体モニター装着の必要性和方法、吸引手順や物品について理解し、演習で体験する。 講師:教育委員（看護師）
新採用者 看護技術研修 「輸液管理」	4/10	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	輸液に必要な院内の物品を知る。患者誤認予防のための確認方法について、演習で経験する。 講師:教育委員（看護師）
新採用者 看護技術研修 「静脈血採血」	4/13	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	静脈血採血の方法・検体の取り扱いの方法の基本的な知識・技術をシミュレーターを用いた演習で体験する。 講師:教育委員（看護師）
新採用者 看護技術研修 「与薬」	4/13	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	与薬についての基本的知識・技術を学び、安全な与薬場面を演習で体験する。 講師:教育委員（看護師）
新採用者 看護技術研修 「スキンケア」	4/14	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	褥瘡予防の基本的知識、根拠に基づいた褥瘡予防対策を学ぶ。創傷治癒過程を確認し、根拠に基づいた看護ケアの必要性を学ぶ。 講師:皮膚排泄ケア認定看護師、褥瘡対策リンクナース
新採用者 看護技術研修 「摂食嚥下障害看護」	4/14	新採用 看護職員	72名	2.5時間 × 2回	摂食嚥下の基本知識を学ぶ。口腔ケアの目的と効果と学び口腔ケア方法について理解する。栄養管理の基本的知識を学び摂食嚥下リハビリテーションにおける栄養管理を理解する。 講師:摂食嚥下障害看護認定看護師、摂食嚥下リンクナース
新人看護師研修 コミュニケーション ～プロとしてのはじめの コミュニケーション～	4/15 4/16 4/17	新採用 看護職員	75名	全日 × 3グループ	仕事をしていく上で必要となる周囲の人達との関わり方、コミュニケーションエラーを防ぐ受け取り方、聴き方、伝え方、表現の仕方を講義・グループワークを通して学ぶ。 講師:株式会社ハーティストエグゼクティブトレーナー
平成27年度 第1回医療安全講演会	4/20	全職員	57名	1.0時間	ノンテクニカルスキルのトレーニング ～シミュレーション手術室における取り組み～ 講師:ハーバード大学教授

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
手術室定期研修	4/20 4/24 6/10 12/11 12/12	医師、看護師	62名	各0.5時間	中央手術室専用医療機器の基礎について 講師：臨床工学技士
ICD、CRT-D取扱研修	4/28	看護師	12名	1.0時間	ICD、CRT-Dの基礎と取り扱い方法について 講師：臨床工学技士
感染リンクナース委員会勉強会	5/13	リンクナース	30名	0.75時間	手指衛生・PPE着脱演習 講師：リンクナース前年度経験者
地域連携研修会 感染症フォーラム	5/27	全職員	63名 (院内50名、 院外13名)	1.5時間	抗菌薬はじめの一步2015 講師：筑波大学医学医療系教授
研修医向け MRI装置磁場体験	5/2 6/12 6/22	初期研修医 診療放射線技師	35名	各0.75時間	①講義：「MRI装置の磁場と磁場の危険性」 ②金属持込体験：「MRI検査室でハサミが飛ぶ」 講師：診療放射線技師
急変予兆	5/7 7/2 8/6 12/3	2年目看護職員	のべ 88名	各2.5時間 × 8回	急変予兆の概念を理解し、呼吸・循環・意識に関するフィジカルアセスメントを習得する。アセスメントに基づいた急変予兆の発見と報告を演習で体験する。 講師：救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児ケア認定看護師、小児救急看護認定看護師
心肺蘇生講習会 (医療職向け)	5/21 6/18 7/16 9/17 10/15 11/19 1/21 2/18 3/17	医師、研修医、 看護師、他医療職	166名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ。 講師：高度救命救急センター医師
看護技術研修 CV管理コース 「講義・演習・テスト」	5/21 6/25 7/23 9/24 12/17	院内看護職員	のべ 83名	各2時間 × 5回	CV管理に関する原理原則をふまえ、安全な看護技術へつなげる。 【事前課題】：①看護技術と責任②CVに関連する解剖、生理、合併症、副作用、リスク③CVカテーテル・ラインの種類と構造④シュアプラグの構造と使用方法について⑤インシデント、アクシデントの早期発見、早期対応、について 【演習】：指導者によるデモンストレーション後、手順に従って演習を実施 【テスト】：講義終了後、筆記テスト実施。演習終了後実技テスト実施 講師：教育担当師長、他師長
移乗介助講習会	5/22 5/26 6/11	研修医	37名	各1.0時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士
新採用者研修 統合研修 「多重課題の対応」	5/22 6/5	新採用 看護職員	65名	2.5時間 × 4グループ	患者に正確かつ安全な看護技術を提供することについて、事例を用いたロールプレイを実施展開し、学習した看護技術を振り返る。 講師：教育担当師長、教育委員会担当師長、教育委員会委員、教育担当看護師
感染防止技術講習会	5/25 5/26 6/2 6/3 6/4	医師、看護師、 コメディカル	223名	各1.5時間	N95マスクフィットテスト研修 講師：感染制御担当看護師長 研修協力：日本船舶株式会社・株式会社スリーエム

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
医療用ポンプ新規導入時研修	5/25 5/27 5/29	看護師、臨床工学技士	48名	各1.0時間	新規導入人工呼吸器の取り扱い方法と注意点について 講師：臨床工学技士
個人情報保護研修	5/28	診療放射線技師	30名	0.5時間	講義：個人情報漏えい事例の紹介、個人情報の適切な取扱いについて、センター病院における誤送付等防止のための4原則、データ送付時の注意事項 講師：放射線部個人情報管理担当者
平成27年度《第1回目》 放射線業務（診療） 従事者講習会	6/5	放射線業務〈診療〉 従事職員 （ガラスバッジ装着職員）	90名	2.0時間	①講義：放射線が人体に及ぼす影響とメカニズム ②講義：放射線の管理（始めてガラスバッジを持つ方へ） ③講義：RI検査・RI治療の被ばく・汚染の管理について ④講義：放射線治療装置、血液照射装置のしくみと安全な取扱い ⑤講義：放射線障害予防に関する法令とtopics 講師：診療放射線技師、放射線取扱主任者
補助循環装置取扱い 研修	6/11 7/15 8/27 10/22 12/22 2/29	医師、看護師、 臨床工学技士	75名	各1.0時間	補助循環装置（PCPS）の取扱いと注意点 講師：臨床工学技士、外部講師（メーカー）
心肺蘇生講習会 （非医療職向け）	6/18 10/15 2/18	医療職以外の職員	24名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ。 講師：高度救命救急センター 佐藤医師 他
移乗介助講習会	6/19 6/26	全職員	28名	各1.0時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を 講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士
（一部公開講座） 看護職員研修 呼吸管理シリーズ	7/16 9/9 10/7 1/14	院内看護職員 横浜市内 看護職員	のべ 101名 （院内 100 名、院 外1名）	各1.5時間	人工呼吸管理及びケアに必要な基本的な知識を習得し、実践に役立てる。 第1回：フィジカルアセスメントに必要な解剖生理の基本とフィジカルアセスメントの実践が分かる 第2回：呼吸ケアに必要な看護技術：体位排痰法 第3回：呼吸ケアに必要な看護技術：口腔粘膜・嚥下の評価を口腔ケア 第4回：一般病棟に求められる人工呼吸器の基本 講師：第1回：集中ケア認定看護師 第2回：集中ケア認定看護師 第3回：摂食・嚥下障害看護認定看護師 第4回：高度救命救急センター医師
医療機器メンテナ ンス研修	7/30 12/22	臨床工学技士	15名	各2.0時間	加湿加温器他メンテナンス方法について 講師：外部講師（メーカー）
血液浄化研修	9/1	臨床工学技士	13名	1.0時間	血液浄化装置の取り扱いについて 講師：外部講師（メーカー）
医療機器導入時研修 「本館一般撮影（胸腹部）FPD装置（更新）の安全な取り扱いと、主な機能の説明会」	9/10	診療放射線技師	48名	1.5時間	①講義：装置購入のコンセプト ②講義：安全な利用と取り扱い《立位撮影台》 ③講義：安全な利用と取り扱い《FPD装置、画像処理ユニット》 講師：①診療放射線技師 ②外部講師（メーカー） ③外部講師（メーカー）

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用フォローアップ研修 ～半年後～	9/18 10/2	新採用 看護職員	67名	各3時間 × 2回	放射線被曝について正しい知識やリスクを理解する。 医療安全管理について再確認し、自己の課題を認知する。 リーダーシップ・メンバーシップ行動における今後の自己のあり方を考察する。 研修受講を通して、今後の自己のあり方、具体的行動を想起し記述する。 講師:放射線科技師、安全管理担当看護師長、精神看護専門看護師
地域連携研修会 感染症フォーラム	9/30	全職員	41名 (院内 32名、 院外9 名)	1.5時間	感染症診療のロジック～発熱診療を中心に～ 講師:国立国際癌研究センター 国際感染症センター長
BLSインストラクター ターフォローアップ	10/1	院内看護職員	2名	1 時間	院内BLSインストラクターとしての知識・技術の維持、向上を図り、適切な指導を実施するためのシミュレーション学習 講師:救急看護認定看護師
BLS講習会 インストラクター フォローアップ	10/1	院内 看護職員	3名	1時間	院内BLSインストラクターとしての知識・技術の維持、向上を図り、適切な指導を実施するためのシミュレーション学習 講師:救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師
リーダナーズの 急変予兆	10/1 2/4	院内 看護職員	32名	1日 × 2回	急変の予兆に気がつくことができ、リーダー役割として対応するため、危険な呼吸・循環・意識の聴講を講義で学び、事例検討、シミュレーションを実施。 気管挿管の介助や除細動器の使用方法を学ぶ。 講師:救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師
平成27年度《第1 回》 放射線関連装置の医療機器 安全取扱研修	10/2	診療放射線技師、放射線部医師、放射線科医師、初療室・放射線部・内視鏡室看護師	48名	2.0時間	①講義:医療機器の安全確保について ②講義:核医学検査装置を安全に取り扱うために ③講義:リニアック装置・RALS装置の安全取扱い ④講義:「核医学診療事故防止指針」から 講師:①物品管理委員長 ②核医学検査担当 ③放射線治療担当 ④物品管理委員会顧問
感染リンクナース委員会勉強会	10/7	リンクナース	30名	0.75時間	感染性腸炎～吐物処理を中心に～ 講義と演習 講師:感染制御担当看護師長
感染リンクナース委員会勉強会	11/4	リンクナース	30名	20分	冬季の感染症対策について 講師:感染制御担当看護師長
NICUポータブルX線 撮影装置の更新に伴う医療機器導入時研修	11/5	診療放射線技師	47名	1.0 時間	①講義:導入の経緯とコンセプト ②講義:製品の特徴紹介 ③講義:使用方法、添付文書の説明、トラブル時の対応 講師:①診療放射線技師 ②外部講師(メーカー) ③外部講師(メーカー)
CT装置寝台における 安全な患者引き起こし 介助訓練	11/6	診療放射線技師 (CT検査室担当)	12名	1.0時間	①安全な患者引き起こし方法と注意点の解説 ②CT装置寝台を用いた介助訓練 講師:理学療法士

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
CT寝台での患者介助	11/6	放射線部職員	12名	0.75時間	C T装置寝台での患者起き上がり動作、 移乗介助方法を講義、デモンストレーション。 講師:理学療法士
看護技術研修 「血管確保」	11/13 12/4 1/8 2/19	新採用 看護職員	68名	3時間 × 4回	血管確保に関連する基本知識、静脈注射に関する関係法規、血管確保に伴う合併症、薬剤の血管への影響の理解と血管確保の技術演習を実施 講師:教育担当師長、教育委員会担当師長
看護技術: 2年目フォローアップ演習 「12誘導心電図」	11/16 11/26	2年目 看護職員	22名	1時間 × 2回	12誘導心電図の基本知識と装着を習得する。 講師:教育担当師長 アドバイザー:看護師6名
平成27年度《第2回目》 放射線業務(診療) 従事者講習会	11/17	放射線業務(診療)従事職員 (ガラスバッジ装着職員)	52名	2.0時間	①講義:人体への影響～体内での放射線の作用について～ ②講義:放射線の管理～診断参考レベル(DRL)の概要～ ③講義:放射線の安全取扱い①～RI装置 SPECT・SPECT-CTについて～ ④講義:放射線の安全取扱い②～放射線治療装置、血液照射装置について～ ⑤講義:放射線障害予防に関する法令とtopics 講師:診療放射線技師、放射線取扱主任者
看護技術 「胸腔ドレーン管理」	11/19	院内 看護職員	15名	1.5時間	胸腔ドレンの管理、原則、リスクの理解、胸腔ドレン管理技術について講義と演習を実施 講師:急性・重症患者看護専門看護師
地域連携研修会 感染症フォーラム	11/25	全職員	66名 (院内 42名、 院外24 名)	1.5時間	感染対策のピットホール 講師:浜松医療センター副院長
清掃委託研修	11/27	委託職員	50名	0.5時間	感染対策の基本 講師:感染制御担当看護師長
看護助手研修	12/3	看護助手	46名	40分	冬季の感染症 講義と手指衛生・PPE着脱のタイミングのGW 講師:感染制御担当看護師長
平成27年度 第2回医療安全講演会	1/25	全職員	83名	1.0時間	安全対策に潜む落とし穴 ～効果的なダブルチェックとは～ 講師:電気通信大学教授
地域連携研修会 感染症フォーラム	1/27	全職員	40名 (院内 36名、 院外4 名)	1.5時間	肺炎診療のパラダイムシフト 講師:大阪大学医学部付属病院 感染制御部部长 教授
SPECT-CT装置の安全 取扱研修 (導入時研修)	2/3	診療放射線技師	30名	1.0時間	①講義:導入時のコンセプト(ユーザー) ②講義:安全な利用と取り扱い<<X線CT組合せ型SPECT装置>>(メーカー) 講師:①診療放射線技師 ②外部講師(メーカー)

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
平成27年度《第2回》 放射線関連装置の医療機器 安全取扱研修	2/26	診療放射線技師、放射線部医師、放射線科医師、初療室・放射線部・内視鏡室看護師	28名	2.0時間	①講義：医療機器の安全確保について ②講義：核医学検査装置を安全に取り扱うために ③講義：リニアック装置・RALS装置の安全な取扱い方 ④講義：関係法令 -平成28年度 診療報酬改訂の気になるポイント- 講師：①物品管理委員長 ②核医学検査担当 ③放射線治療担当 ④物品管理委員会顧問
SPECT-CTにおける 患者急変時対応訓練	3/3	診療放射線技師、放射線部医師、放射線科医師、高度救命救急センター医師、外来B看護師、初療・放射線・内視鏡看護師	31名	1.25時間	ダイヤモンドモックス負荷・脳血流シンチを想定した患者急変時訓練 ①訓練概要説明（5分） ②実地訓練（20分） ③ビデオ再生による検証（20分） ④ダイヤモンドモックス負荷による副作用実例の紹介（5分） ⑤意見交換および評価者による講評（25分） 講師：放射線部医師
分娩台での患者介助	3/3 3/10 3/11	母子医療センター	21名	各0.75時間	分娩台での患者起き上がり動作、 移乗介助方法を講義、デモンストレーション。 講師：理学療法士
地域連携研修会 感染症フォーラム	3/23	全職員	24名 (院内17名、 院外7名)	1.5時間	知って得する？ 呼吸器感染症の雑学 講師：川崎医科大学総合内科学1教室 准教授

5 入院患者さんアンケート（附属病院の例）

入院患者さんアンケート

このアンケートは、皆さんが入院療養中にお感じになったことについてうかがい、病院の安全管理対策や医療サービスの質を向上させていくことを目的としています。皆様から頂戴したご意見を参考に、より信頼される病院づくりに向け、職員一同、励んで参りますので、率直なご意見をいただければと思います。ご協力をお願いします。

アンケートにつきましては、退院の際または退院後外来にご来院されました折に、2階総合案内カウンター（土・日曜、祝日は1階防災センター）に設置してあります回答箱に投函くださるよう、お願いいたします。

横浜市立大学附属病院長

- 1 貴方様が入院期間中に受けた、病状や治療方針の説明は分かり易かったですか。

（該当する□にシ点を付けてください）

- ☐ 良く理解できた ☐ 一応理解できた ☐ どちらでもない
☐ 余り理解できなかった ☐ 全く理解できなかった
☐ その他 _____

- 2 入院中の治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他に気づかれたことや不満に思われたことがありますか。

（該当する□にシ点を付けてください）

- ☐ ある ☐ ない

- 3 「ある」とお答えいただいた方は「いつ」「どのようなことか」などを具体的にお書き願います。

4 医師，看護師，薬剤師，技師などの対応について，どうお感じになりましたか。

(該当する□にシ点をつけてください)

- ☐ 非常に良い ☐ まあ良い ☐ 普通 ☐ やや悪い
☐ 非常に悪い ☐ 分からない

5 病室，トイレ，デイルーム，食事など院内の療養環境について，あなたの印象に最も近いものはどれですか。 (該当する□にシ点をつけてください)

- ☐ 満 足 ☐ やや満足 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 何とも言えない

6 職員の対応や療養環境，その他，お気づきの点があれば自由にご記入下さい。

7 おかかりの診療科と病棟を記入して下さい。

① 入院した病棟 病棟

② 診 療 科 (該当する□にシ点をつけてください)

- ☐ リウマチ・血液・感染症内科 ☐ 呼吸器内科 ☐ 循環器内科
☐ 腎臓・高血圧症内科 ☐ 消化器内科 ☐ 内分泌・糖尿病内科 ☐ 神経内科
☐ 脳卒中科 ☐ 神経科 ☐ 小児科 ☐ 一般外科 ☐ 心臓血管外科
☐ 心臓・小児循環器 ☐ 消化器・肝移植外科 ☐ 臨床腫瘍・乳腺外科
☐ 整形外科 ☐ 皮膚科 ☐ 泌尿器科 ☐ 産婦人科 ☐ 眼科 ☐ 耳鼻咽喉科
☐ 放射線科 ☐ 歯科口腔外科 ☐ 麻酔科 ☐ 脳外科
☐ リハビリテーション科 ☐ 形成外科 ☐ 小児精神神経科

8 差し支えなければご記入下さい。

ア 性 別 : 男 性 ・ 女 性 (該当する方に0をつけてください)

イ 年 齢 _____ 歳

ウ ご住所 _____

お名前 _____

ご記入の日 平成____年____月____日 (ご協力ありがとうございました)